

家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和3年4月発行

台湾北部海岸に漂着した 豚の死体で ASF 陽性事例！

4月5日、台湾本島北部の新北市万理区の海岸に漂着した豚の死体からアフリカ豚熱（ASF）が確認されました。台湾本島への漂着物で ASF 陽性となった事例は今回が第1例目（台湾は ASF 非発生地域）となります。概要は下記のとおりです。



概要

- 4月4日、海洋警備隊が新北市漁港の海岸から15 km離れた地点（海上）で豚の死体を発見
- 4月5日、精密検査した結果、ASFと確定

対応

- ASF発見地点から半径10 km以内11戸の養豚農場（2,719頭飼養）のASF豚熱陰性を確認。
- 移動制限を解除

ASFはワクチンも治療法もなく、感染力の強い感染症です。漂着した豚等の死体に由来する病原体が豚等の飼養施設に持ち込まれないよう、飼養衛生管理基準を遵守し、ウイルス侵入防止対策の徹底をお願いします。

アフリカ豚熱（ASF）の症状



病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱（40～42℃）、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

最上家畜保健衛生所 電話：0233-29-1357
（休日・夜間も対応）